

# 与論島の活性化のために

理学部数理情報科学科 1年 田邊慎太郎

学籍番号 2216510176

私は今回この集中講義をきっかけに与論島という島を知って、初めて行くことができた。与論島では透き通ったとてもきれいな海を見ることができ、さらに島の人からのあたたかいおもてなしを受けた。一步街に出て買い物をしていると、店員さんなどがとてもフレンドリーに話しかけてくれ、買い物だけでもとても楽しい思い出になった。与論島は、一度行けばまた来たいと思える素晴らしい島であった。そのため私は与論島活性化のためには次のことが重要であると考えます。

前にも述べたが、与論島は一度行ってみるとまた行きたいと思える素晴らしい島である。そのため、一度来てもらうためのPR方法が大事だと考える。これは、島の情報などを発信するのが重要であると考えます。最近ではメディアなどに取り上げられるようになり与論島の観光客は増加している。今よりもっと観光客を増加させるために島の情報の発信は大事である。与論島には百合が浜や沈船あまみなど様々な観光スポットがある。このたくさんの観光スポットをさらにメディアに取り上げてもらうべきである。次に、訪れてきた観光客を楽しく過ごしてもらう方法を考えなくてはならないと考える。私は与論島では街灯が少ないと感じた。夜、外に出ると真っ暗で何も見えなくとても危険だと感じた。島の人と話をしたとき、その人は外が暗くて何も見えず大げがをしたという話をしていた。島の人ですらげがをしてしまうのであまり島に慣れていない観光客が暗い夜道を進むとげがをしてしまうと考えた。せっかく与論島まで観光に来たのにげがをしてしまうのはとても残念なことであると思うので、街灯を付けるべきだと思う。与論島は小さい島なので観光客向けに自転車のレンタルなどを始めるといいのではないかと考えた。島の一周は、自転車でも行ける距離だと思うので、レンタルを始めることでそこから資源を得ることができるとし、観光客としても自転車があると行動範囲が広がるのでとても楽しく過ごせると思う。そして、今日本は東京オリンピックの効果もあり外国人観光客が増加している。このような外国人観光客を島に呼び込むのも一つの手だと考える。そのためにも、与論島ホームページの外国語の表記が必要である。外国人向けのホームページを作るべきであると考えます。そのようなホームページがあるだけで外国人の方もとても気安く感じるのではないかと思う。民宿やホテルなどの従業員が英語をしゃべれるようになることも重要であると考えます。さらに鹿児島大学活性化センターをきれいにするのも重要であると考えます。活性化センターをきれいにし、鹿児島大学生が与論にやってきて長くとどまり、島を気に入って定住するというサイクルが生まれるかもしれない。定住することも世論の活性化につながると考える。ある島の人と話をしたときその人はもともと島外の人で今は島に住んでいるという人

だった。その人は観光で与論島にやってきて、与論の町や人の温かさをとても気に入りの島に住みたいと思い島にやってきたとおっしゃっていた。島の良さに触れ、定住を考える人もいるのだと感じた。その人のように若い人が島に定住し、島で結婚、出産をすることで子供も増える。子供の数が減っているという与論島にとってはとてもいいことであると思う。その実現のためには、与論島にあった建築や若者を迎え入れる制度などが必要不可欠であると考え。そのようなことを鹿児島大学とともにアイディアを出し合っていくべきであると思う。

以上述べたように、まず観光客が行きたいと思ってもらえるようなPR方法、そして来ていただいた人が快適に過ごす方法、外国人観光客に来てもらえるホームページの作り方。そして定住してもらえるような建築、制度が重要であると私は考えた。今の字状況では課題が多いと思うがその課題を鹿児島大学の学生と世論の島の人とともに考えていければと思う。そして与論島が世界的にも有名な観光スポットとなることを願っている。